

プチパピ 図書館だより

2021
3月号



図書館報『パピルス』のプチ版ということでプチパピです

磐城桜が丘高等学校図書館・図書委員会発行

今年度一年間、図書館を利用していただきありがとうございました。課題や部活動で忙しいとは思いますが、春休み中に自分の糧となる本を読んでみませんか。

お知らせ

春休み中は館内整理のため閉館します

新年度は4/8(木)より開館します

「春休み長期貸出」は3/19(金)まで!

一人8冊まで借りられます
返却期限は4/9(金)です

お願い

返却を忘れている本はありませんか。延滞している本が手元にある人は、今年度中に返却してください。その本は次の誰かに読まれるのを待っています!



図書委員 オススメの本

今月のテーマ:「芥川賞・直木賞受賞作」

『コンビニ人間』

村田沙耶香/文藝春秋

18歳でコンビニ店員になり、36歳になってもそれを続ける古倉さんの生き方を描いた物語です。皆一度は「普通ってなんだろう」と考えたことはないでしょうか。彼女は「異常」と言えるような人間。最初はそう思うかもしれませんが、古倉さんの価値観は皆さんとは違った点があるかもしれませんが、読み進めていくうちに「正常な人間」が何とも気持ち悪く思えてくるはず。あなただっけいつの間にか「修復」され、世界の部品になっていませんか?

※第155回芥川賞受賞作(2016年上半期)

(1年・男子)

『鍵のない夢を見る』

辻村深月/文春文庫

小学3年生の時に隣町から転校してきた律子と親しくなったミチル。ある日、別の同級生から律子の母が窃盗を繰り返しているという噂を聞かされる。到底信じられないミチルだったが、ついに留守中の我が家から出てきた律子の母と鉢合わせしてしまう。

当たり前の幸せを求める女性達が起こしてしまった5つの小さな事件を扱った短篇集です。

※第147回直木賞受賞作(2012年上半期)

(1年・女子)

『推し、燃ゆ』

宇佐見りん/河出書房新社

主人公のあかりは周りの人とズれているところがあります。そこから生じる軋轢の描かれ方によって、あかりの人間関係が生々しく伝わってきました。押しへの気持ちや周りの人とのズレによる葛藤の中で生きているあかりの感情をありありと書いた作品です。

※第164回芥川賞受賞作(2020年下半期)

(2年・女子)



裏面は新着案内